

平成29年1月11日

上場会社名 日本BS放送株式会社 上場取引所 東
 コード番号 9414 URL <http://www.bs11.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 齋藤 知久
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営戦略局長 (氏名) 平山 直樹 (TEL) 03 (3518) 1900
 四半期報告書提出予定日 平成29年1月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年8月期第1四半期の業績(平成28年9月1日～平成28年11月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年8月期第1四半期	2,640	7.0	603	△2.4	604	△2.3	416	△3.3
28年8月期第1四半期	2,466	16.3	618	9.4	618	10.8	430	20.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年8月期第1四半期	23.38	—
28年8月期第1四半期	24.18	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年8月期第1四半期	15,589	14,394	92.3
28年8月期	15,980	14,280	89.4

(参考) 自己資本 29年8月期第1四半期 14,394百万円 28年8月期 14,280百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年8月期	—	0.00	—	17.00	17.00
29年8月期	—	—	—	—	—
29年8月期(予想)	—	0.00	—	18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年8月期の業績予想(平成28年9月1日～平成29年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	5,600	14.3	965	△18.6	965	△18.6	630	△21.5	35.39
通期	12,000	17.5	2,200	4.3	2,200	2.9	1,460	0.0	82.01

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

29年8月期1Q	17,802,832株	28年8月期	17,802,832株
29年8月期1Q	94株	28年8月期	94株
29年8月期1Q	17,802,738株	28年8月期1Q	17,802,738株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しておりません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件については、添付資料2ページ「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 追加情報	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策及び金融政策などを背景に、企業収益や雇用・所得環境の改善が見られ、景気は緩やかな回復基調となりました。しかしながら、新興国経済の下振れに加え、英国のEU離脱問題などの影響もあり、依然として先行きは不透明な状態が続いております。

当社を取り巻くBSデジタル放送業界は、デジタル放送受信機の普及に伴い、視聴可能世帯数の割合は全世帯の71.7%（「BS世帯普及率調査」(株)ビデオリサーチ調べ）で推移しており、またBSデジタル放送事業を含む衛星放送メディア分野の広告費は前年比で1.5%の伸長、中でもBS放送の広告費は、前年比で4.0%増と堅調に推移しております（「2015日本の広告費」(株)電通調べ）。

このような状況下、当社は「質の高い情報を提供することで人々に感動を与え、幸せな社会づくりに貢献します」を経営理念として、「豊かで癒される教養・娯楽番組と中立公正な報道・情報番組を発信し『価値ある時間』を約束します」との経営ビジョンに基づき、良質な番組制作に引き続き邁進いたしました。

平成28年10月の番組改編では、良質な番組制作による視聴世帯数の増加を目的として、多彩なジャンルで活躍中のタレント篠原ともえさんが、カメラを片手に「旅」と「写真」の2つの魅力を楽しむ『楽しさいっぱい写真旅』、若手女子プロゴルファーの岡村咲選手がアマチュアゴルファーのスコアアップ術を伝授する『岡村咲のGOLFスコアアップ』、プロレスの面白さや選手の情報を伝えるスポーツ番組『全日本プロレスイレブン』の放送を開始いたしました。さらに『平成28年度 全日本学生柔道体重別選手権大会』、『日本女子ソフトボールリーグ』を放送、スポーツコンテンツのより一層の充実を図るとともに、生活に役立つ耳よりで“ホットな情報”を紹介する情報番組『耳より! Bizトレンド』の放送を開始し、5分ミニ枠番組の強化にも取り組みました。

また、BS初登場の『大都会 PART II』、韓流ドラマでは人気時代劇『宮廷女官チャングムの誓い』、その他話題の作品にこだわったドラマ編成等が、売上増加に寄与いたしました。

費用面につきましては、引き続き番組関連費用等の効率的なコントロールに努めながら、番組宣伝のための施策として、全国紙・地方紙への広告出稿を戦略的に実施したほか、首都圏主要駅への看板掲出など、様々な媒体を活用した広告宣伝施策を実施いたしました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は2,640,244千円（前年同期比7.0%増加）となりました。営業利益は603,692千円（前年同期比2.4%減少）、経常利益は604,571千円（前年同期比2.3%減少）、四半期純利益は416,172千円（前年同期比3.3%減少）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ391,063千円減少し、15,589,415千円（前事業年度末比2.4%減少）となりました。主な要因は、現金及び預金が231,646千円、受取手形及び売掛金が132,139千円減少したことによるものであります。

当第1四半期会計期間末における負債合計は、前事業年度末に比べ504,589千円減少し、1,195,019千円（前事業年度末比29.7%減少）となりました。主な要因は、未払法人税等が295,951千円、流動負債のその他が185,090千円減少したことによるものであります。

当第1四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ113,525千円増加し、14,394,396千円（前事業年度末比0.8%増加）となりました。この要因は、利益剰余金が前事業年度の期末配当金302,646千円の支払により減少したものの、四半期純利益416,172千円の計上によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年8月期の業績予想につきましては、平成28年10月7日付の「平成28年8月期 決算短信」で公表しました業績予想から変更ありません。

なお、業績予想は現時点において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期会計期間から適用しております。

3. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成28年8月31日)	当第1四半期会計期間 (平成28年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,893,550	6,661,904
受取手形及び売掛金	1,838,346	1,706,207
番組勘定	127,798	135,493
その他	134,031	113,462
貸倒引当金	△100	△100
流動資産合計	8,993,626	8,616,967
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,414,076	2,394,103
土地	4,034,756	4,034,756
その他(純額)	317,375	322,668
有形固定資産合計	6,766,208	6,751,529
無形固定資産	9,402	7,852
投資その他の資産	211,240	213,066
固定資産合計	6,986,852	6,972,447
資産合計	15,980,479	15,589,415
負債の部		
流動負債		
買掛金	364,440	340,753
未払法人税等	487,847	191,895
その他	788,233	603,142
流動負債合計	1,640,521	1,135,791
固定負債		
退職給付引当金	42,381	44,505
その他	16,706	14,721
固定負債合計	59,087	59,227
負債合計	1,699,608	1,195,019
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,183,198	4,183,198
資本剰余金	3,516,989	3,516,989
利益剰余金	6,580,778	6,694,304
自己株式	△96	△96
株主資本合計	14,280,870	14,394,396
純資産合計	14,280,870	14,394,396
負債純資産合計	15,980,479	15,589,415

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成27年9月1日 至平成27年11月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成28年9月1日 至平成28年11月30日)
売上高	2,466,976	2,640,244
売上原価	1,120,115	1,267,403
売上総利益	1,346,860	1,372,841
販売費及び一般管理費	728,254	769,149
営業利益	618,606	603,692
営業外収益		
受取利息	93	0
その他	203	958
営業外収益合計	296	958
営業外費用		
支払利息	259	79
営業外費用合計	259	79
経常利益	618,643	604,571
税引前四半期純利益	618,643	604,571
法人税、住民税及び事業税	168,542	173,056
法人税等調整額	19,696	15,342
法人税等合計	188,239	188,399
四半期純利益	430,404	416,172

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。